

# だいいちだより

<http://www.daiichisho.com>

TEL 0598-21-0254

## 「学校アンケート」へのご協力ありがとうございました

### 児童アンケートから

#### 1. 強み

- ・友だちを大切にしている：肯定99%（あてはまる、どちらかといえばあてはまる）。思いやりや良好な人間関係が見られる。
- ・地震・火災時の対応理解：肯定99%。避難行動などの基本理解が定着しつつある。
- ・掃除・係などの役割行動：肯定97%。責任感・公共心の育ちが見られる。

#### 2. 弱み

- ・読書習慣（本をよく読んでいる）肯定63%、底上げが必要。
- ・自発的なあいさつ：肯定84%。“自分から”の実践度を一段引き上げたい。（地域の方々にも）
- ・困りごとの相談：肯定85%。さらに、児童との良好な関係づくり、安心・安全な学校づくりの取り組みを進める。

### 保護者アンケートから

1月9日～1月22日の期間に、76件のご回答をいただきました。

温かい励ましのお言葉、また学校改善につながるご意見を多くお寄せいただき、感謝申し上げます。

#### 1. 保護者のみなさまから高く評価された点

##### ・安全への取り組み

「防災訓練や安全への配慮ができています」96%の方に肯定的に回答いただきました。

日頃の防災訓練・見守り体制が安心につながっている。

##### ・子どもたちの人間関係

「友だちとなかよく過ごしている」96%

学年を超えて、温かい関わりが見られるとの声が多く寄せられた。

##### ・一人ひとりを大切にする教育

「子どもを大切にしてくれている」と94%、担任・専科ともに、丁寧な関わりを感じていただけている。

##### ・学校生活の楽しさ

「学校が楽しい」92%

日々の活動を楽しむ子どもたちの様子が伝わっている。

#### 2. 見えてきた課題

##### ・読書習慣の定着

「よく読書をしている」44%と低め。

学年が進むにつれて読書量が減る傾向がある。

##### ・家庭でのお手伝い

肯定・否定が50%ずつ。生活習慣を育てる機会づくりが必要。

### ・学習習慣のばらつき

「学ぼうとする意欲や習慣がある」59%

学年差が大きく、さらなる授業改善を進めていきたい。

### ・あいさつの習慣

全体では75%ですが、地域の人やボランティアのみなさんに自分から挨拶する姿が、さらに見えてくるとよい。

### ・相談しやすさ

困ったときに「先生に相談している」全体79%

安心して話することができる関係づくりをさらに進めていく。

### ・子どもたちの生活習慣（メディア利用）

平日の視聴・ゲーム時間

2時間以内：75%、3時間以上：25%。特に6年生は“3時間以上”が59%と多い結果。

## 5. いただいたご意見（自由記述より）

みなさまからの温かい励ましのお言葉を多くいただきました。

一方で、授業中の教師からの声かけの仕方や、雑巾の持参数など、改善が必要なご意見もいただきました。いただいた声は真摯に受け止め教職員間で共有し、改善につとめてまいります。

## 6. 今後の取り組み

いただいた結果をふまえ、以下のことについて重点的に取り組んでいきます。

- ・読書活動の推進 ・学習習慣づくりの支援 ・あいさつの奨励
- ・高学年に向けたメディアリテラシー教育の充実
- ・授業での声かけや連絡面の改善

### 最後に

アンケートを通じて、学校への温かい信頼のお気持ち、また改善への具体的なご意見をいただきました。これからも、子どもたちが安全に、安心して、楽しく学べる学校づくりを、保護者のみなさまと力を合わせて進めてまいります。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



## 殿町中学校区学校運営協議会【コミュニティ・スクール(CS)】 運営委員学校評価から

- ・日頃から地域で子どもたちの様子を見守っているが、殿町中学校区ではどの学校の児童生徒も落ち着きがあり、学校の指導や家庭での教育がよく行き届いていると感じる。
- ・全体として各設問で肯定的な回答が多い点は高く評価できる。一方で、様々な課題を抱える子どもも一部に見受けられる。不登校や外国籍児童生徒への対応など、背景にある課題は多様化していると考えられるため、引き続ききめ細かな指導を期待したい。
- ・あいさつについては、校内ではよくできているようだが、地域でも児童生徒から進んであいさつをしてほしいと感じる場面がある。まずは私たち地域の大人が率先して、子どもたちに声をかけていくようにしたい。
- ・読書習慣の定着には、家庭の協力が不可欠である。例えば「保護者が自分の好きな本を紹介したところ、子どもが関心を持ち夢中になって読んだ」という事例を聞いたことがある。こうした家庭での良い取り組みを学校とも共有できれば、読書の輪がさらに広がるのではないかと。
- ・今の子どもたちは、ゲームなど読書以外の娯楽が多く、習い事の掛け持ち等で多忙でもある。保護者が無理に読書や生活習慣を押し付けるのではなく、家庭内で話し合っ規則を決め、子どもが自律的に守れるようにしていくことが大切である。